

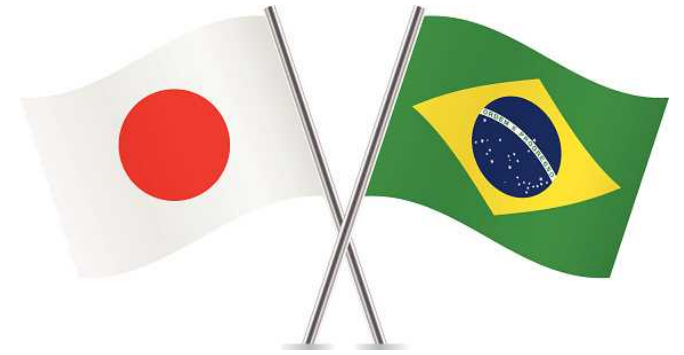


# 日伯関係の歴史・現在・未来

在リオデジャネイロ総領事館

真鍋 尚志

2025年1月17日



- 1 日・リオ関係
- 2 日・ブラジル関係の歴史
- 3 日・ブラジル関係の現在と未来



# 1 日・リ才関係

## リオを訪れた日本人（1）



## リオを訪れた日本人（2）



## リオを訪れた日本人（3）



# 外交関係樹立と在伯公使館の開設

1895年 パリで「日伯修好通商航海条約」に調印。

1897年 リオデジャネイロ州ペトロポリス市に日本公使館設置。





## 日本人ブラジル移住前（リオ）

1905年 杉村公使が「ブラジル移民事情」、「サンパウロ州移民状況報告書」を作成。（“コーヒー樹海。海の如し。”）

1907年 隈部氏他4名、マカエ郡サント・アントニオ耕地に入植。





## リオで活躍する日系人・日本人

- ・エリカ・タキモト(リオ州議会議員)
- ・ダニー・スズキ(女優)
- ・熊本尚美(フルート奏者)
- ・清水ユカ(ピアニスト)
- ・田中まさこ(MAKO)(歌手)
- ・藤原清美(サッカージャーナリスト)



# リオ市と神戸市の姉妹都市提携



2024年は両市の姉妹都市提携55周年。

- ・リオ市議会での記念式典（記念曲の披露）及び神戸市パネル展示
- ・リオ州議会での神戸市パネル展示
- ・神戸市役所による「神戸のカフェにGOGOキャンペーン」
- ・神戸市でのリオ在住日本人音楽家によるコンサート

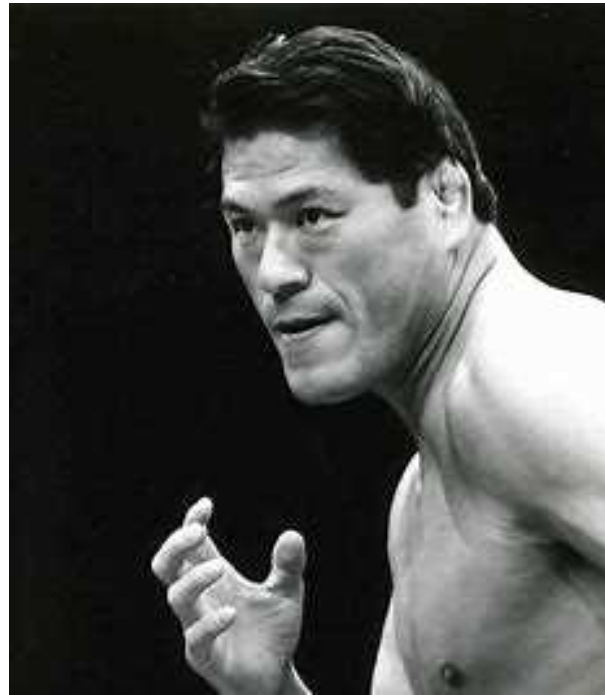


## 2 日・ブラジル関係の歴史

# ブラジルを訪れた日本人



石川達三(1930年)



アントニオ猪木(1957-60年)



美空ひばり(1970年)

## 日伯修好通商航海条約締結の経緯

1888年 日墨修好通商航海条約への署名  
ブラジルの奴隷解放

1892年 ブラジルから日本に対し、日伯修好通商航海条約に係る交渉を打診。

1895年 条約交渉が本格化。(8月)  
条約(仏、日、葡)に調印。(11月、於:パリ)

日本側の背景: 平等条約締結と海外移住の推進。  
ブラジル側の背景: 労働力不足。

# 日本の海外移住政策とブラジルへの移住開始

1868年 グアム、ハワイへの移住開始

1897年 メキシコへの移住開始(「榎本植民」)

1898年 米国がハワイを併合

1902年 イタリアによるブラジルへの移住の制限

1908年 日米紳士協定  
ブラジルへの移住開始(笠戸丸:神戸→サントス)

日本側の狙い: 過剰人口の緩和、資本の増加(輸出、送金)、領土拡大、  
米国以外の移住先の確保

## 日伯交流史（移住）

- 1908年 ブラジル移住の開始。
- 1915年 在サンパウロ総領事館開設。
- 1928年 国立移民収容所が開所（於：神戸）。
- 1934年 「移民二分制限条項」を含むブラジル新憲法が成立。  
（年間に許容される国別移民数は直近50年間の2%以内。）
- 1942年 国交断絶、移住中断。
- 1952年 国交回復、移住再開。
- 1994年 JICAの移住事業再編（移住事業部廃止）。



## 日伯交流史（政府間）

- 2004年 小泉総理が訪伯。（「日・中南米 新パートナーシップ構想」）
- 2005年 ルーラ大統領が訪日。
- 2008年 ルーラ大統領が訪日（G8北海道洞爺湖サミット）
- 2014年 安倍総理が訪伯。（「Juntos!!」）
- 2016年 安倍総理が訪伯（リオ・オリンピック閉会式）。
- 2016年 テメル大統領が訪日。
- 2019年 ボルソナーロ大統領が訪日（G20大阪サミット、即位の礼）。
- 2023年 ルーラ大統領が訪日（G7広島サミット）。
- 2024年5月 岸田総理が訪伯  
（「中南米と共に拓く『人間の尊厳』への道のり」）
- 2024年11月 石破総理（G20リオ・サミット）が訪伯。

## 日伯交流史（皇室の御訪問）

- 1995年 清子内親王殿下（外交関係樹立100周年）
- 1997年 天皇皇后両陛下（中南米で戦後初）
- 2008年 皇太子殿下（移住100周年）
- 2014年 高円宮妃殿下
- 2015年 秋篠宮同妃両殿下（外交関係樹立120周年）
- 2018年 皇太子殿下（世界水フォーラム）
- 2018年 眞子内親王殿下（移住110周年）

## 日伯交流史（経済関係）

1930年代 ブラジルへの経済使節団派遣（1934年）

1950年代後半 輸入代替工業化と日本企業の進出  
（商社、繊維、造船、自動車、機械等）

1960年代後半～70年代前半 高度成長と日本企業の進出

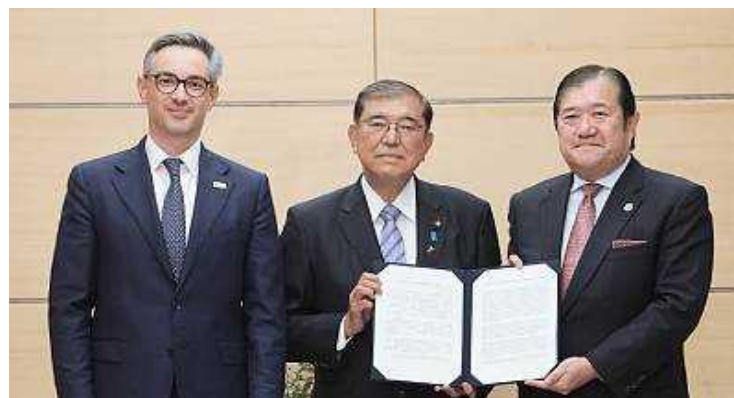
1980年代 債務危機と投資の停滞

2000年代後半～ 対ブラジル投資の増加

## 日伯交流史（ナショナルプロジェクト）

- ウジミナス製鉄プロジェクト（1958年～）
- 紙パルプ資源開発プロジェクト（セニブラ）（1973年～）
- アマゾン・アルミ精錬プロジェクト（1978年～）
- セラード農業開発協力事業（1979年～2001年）
- カラジャス鉄鉱山開発プロジェクト（1981年～）

## 日伯交流史（経済対話の枠組み：民間）



### ● 日伯経済合同委員会

- ・ 日本側：経団連、伯側：CNI
- ・ 第1回（1974年：リオ）～第25回（2024年11月：東京）

### ● 日伯賢人会議

- ・ 日本側座長：飯島三井物産顧問、伯側座長：ヴィエイラ前Firjan会頭
- ・ 第1回（2007年：サンパウロ）～第12回（2024年4月：東京）

# 日伯交流史（スポーツ）



ジーコ



アイルトン・セナ



石井千秋



# 3 日・ブラジル関係の現在・未来



## 伝統的な友好協力関係

- 基本的価値を共有する戦略的グローバル・パートナー
- 世界最多の約270万人の日系人と約21万人の在日ブラジル人
- 伝統的な日本企業の投資先・製造拠点と日伯合同プロジェクト
- 経済協力（環境・気候変動、防災、三角協力等）
- 国際場裏での連携（国連安保理改革等）
- 互いの文化への高い関心

# 岸田総理のブラジル訪問 (2024年5月：日伯首脳会談等)



## <日伯首脳会談>

- 法の支配を堅持し、人間の尊厳が守られる世界の確保に向けた連携。
- 「日伯グリーン・パートナーシップ(GPI)」を立ち上げ。(アマゾン基金への拠出、劣化農地改良事業、エネルギー分野の協力(水素・アンモニア、バイオ燃料・合成燃料等))
- 日・メルコスール経済関係の強化
- 国連安保理改革についてG4で連携。

## <その他>

- 対中南米政策スピーチ、日伯ビジネスフォーラム、日系人との懇談等。

# 石破総理のブラジル訪問 (2024年11月：G20サミット等)



## <G20サミット>

- 「飢餓と貧困に対するグローバル・アライアンス」への参加を表明。日本も積極的に貢献していく旨発言。
- 国連安保理改革、WTO改革の緊急性等につき発言。
- 気候変動・エネルギー移行に係る取組強化の重要性を共有。

## <二国間会談>

- 日英、日加、日英伊

# 石破総理のブラジル訪問 (2024年11月：日伯首脳会談等)



## <日伯首脳会談>

- 外交関係樹立130周年における関係強化・協力を確認。
- 来年のルーラ大統領の訪日の意向を歓迎。
- 日・メルコスール戦略的パートナーシップ枠組み(仮称)につき協議し、協力して取り組んでいくことに合意。
- 安保理改革に関し、G4で引き続き連携していくことで一致。
- ロシアのウクライナ侵略、中東情勢等の国際社会の諸課題について協力していくことを確認。

## <在リオ日系人・在留邦人との懇談>

- 日本政府として日系社会と連携していく旨発言。

## 今後の日伯関係

- 日・ブラジル友好交流年（外交関係樹立130周年）
- 国際社会における法の支配に係る連携
- 日・ブラジル、日・メルコスール経済関係の強化
- 環境保全、気候変動対策、持続可能な開発等に係る協力の推進
- 国際場裏における連携（国連安保理改革等）
- 日系社会との連携

## 今年の日伯関係強化の好機

- 「日・ブラジル友好交流年」(日・ブラジル外交関係樹立130周年)
- COP30のブラジル(ベレン)での開催(11月)
- 大阪・関西万博(4月～10月)



ご静聴ありがとうございました！